



MESSAGE NOTES

希望はある

ヘブル人への手紙 6:18-20

ジェイムス・ブラウン

永遠にある希望

医者も心理学者も病気を乗り越えるように、健全で長く生きるように、希望を持つことの重要性を認めています。簡単に言うと私達は希望なしには生きられません。私達クリスチャンは本当の希望、キリストにある真の希望、揺るぎない希望があります。

ヘブル人への手紙 6:19 この望みは、私たちのたましいのために、安全で確かな錨の役を果たしています。

人生がどのようなであっても、あなたの希望がキリストにあるなら揺るぎません。本当の希望は根拠があり、かたい基盤があります。私達はイエス様やイエス様の復活から希望が与えられます。いずれ私達も復活します。今の人生だけをすべてではないからです。今の人生がどんなにひどくなくなったとしても、想像を遥かに超える素晴らしい永遠の人生があります。

全てを益として下さることにある希望

第二コリント人への手紙 4:17 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。

この箇所からもう一つ本当の希望の特徴がわかります。それは、本当の希望は問題に対して目的を与えて下さることです。苦しみは私達の中に、また私達のために、何らかの良いことを達成します。

ローマ 人への手紙 8:28 : 神を愛する人々のためには、神がすべてのことを働かせて益として下さることを、私たちは知っています。

人生に起こることは良いことばかりではありません。この世には悪も沢山あります。しかし神様は全てを良いことのために用いられます。悪から善をもたらすことができます。私達は苦しんでいる時そのように捉えることが出来なくても、神様を信頼し、この約束にしがみつ়くことができます。

希望を感じていない時

コロサイ人への手紙 3:2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

希望を感じていない時、ものを見る視点を変えなければなりません。焦点を今の問題から神様へ向きを変えて下さい。最も実際的な方法は祈りを通してです。祈りの中で全てを神様に委ねることによって、全てが神様の視点から見えるようになります。